World Platinum Investment Council
ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル
JBMA

Pt & Pd

Market Weekly

2023年12月11日

市場価格

ドル建て　ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	934.00	2023/12/4
High	941.37	2023/12/4
Low	886.00	2023/12/7
Close	914.75	2023/12/8

円建て　円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4425.00	2023/12/4
High	4454.00	2023/12/4
Low	4177.00	2023/12/8
Close	4286.00	2023/12/8

ドル建て　ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1005.43	2023/12/4
High	1013.42	2023/12/4
Low	921.77	2023/12/4
Close	947.46	2023/12/8

円建て　円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4747.00	2023/12/4
High	4783.00	2023/12/4
Low	4380.00	2023/12/6
Close	4429.00	2023/12/8

ニュースエクスプレス

ノリリスクニッケル、今年のパラジウムとプラチナ市場の供給不足は拡大

パラジウム、高品質ニッケル生産で世界最大のノリリスクニッケルが本日発表したリサーチレポートによると、2023年のパラジウム市場の供給不足は6.2トンから28.0トンに拡大する。

さらに今まではリサイクルからのパラジウムは 9% 増えるとしていたが、それをマイナス15% に修正した。北米の鉱山生産は予測を下回ったが、電子材の需要が減ったことで補われたとした。

プラチナ市場に関しては、今年は供給不足になるとしている。

レポートは「自動車産業と工業の需要が伸びて、リサイクル供給が減ったため、主に南アフリカの生産会社が電力不足の中でも鉱山生産を増やしたが、十分ではなかった。」としている。

さらにプラチナ市場について同社は、リサイクル供給が減るために需給バランスが均衡になるとしていたが、一転して、今年のプラチナ市場は12.4トンの供給不足になるとした。

2024年のパラジウム市場については、リサイクル供給が回復して供給不足が12.4トンに減るとし、プラチナ市場については、リサイクル供給の回復はガラスと電子材の需要が増えることで相殺され、今年とほぼ変わらない9.3トンの供給不足。

https://www.kitco.com/news/2023-12-04/Nornickel-expects-palladium-and-platinum-shortage-to-widen-this-year.html

南アフリカの電力供給、再びプラチナ生産に影響か

南アフリカの国営電力会社エスコムの最新の発表によると、今増えつつある計画停電は今後も増える可能性がある。エスコムの基本予測では、平均すると今年見られたレベルの計画外の停電は、2025年3月まではほぼ毎日ある程度実施されることを想定している。予想以上に停電が多ければ、そして計画停電がステージ 4 かそれ以上になれば、PGM 生産の加工施設に影響が出始める。溶鉱炉の定期メンテナンス中に蓄積した材料を計画停電の影響で加工できなかったため、2023年上半期に半加工在庫は予定以上に増えている。2023年下半期は先週までは頻繁な計画停電が行われていなかったため、半加工在庫の処理は進んだとみられる。インパラ・プラチナムは半加工在庫の大部分を来年加工する計画で、南アフリカのプラチナ供給を76.2トンに押し上げる予測。しかし、計画停電の頻度が増せば、計画通りにはいかない可能性もある。そうなれば、インパラは2024年に溶鉱炉の再構築を計画しているため、加工処理は2024年終わり、あるいは2025年にまで持ち越されるだろう。

インパラのPGM 鉱山シャフトで重大事故による操業停止

今週、インパラ・プラチナムのラスタンバーグ鉱山のシャフト11で12人が死亡する重大な事故があり、全ての操業が停止された。シャフト11、シャフト11C はパ災調査が終わり、稼働されるまで停止されるが、他のシャフトでは操業を再開した。6月が期末となるインパラの2023年度中、シャフト 11 は 6E を5.4 トン（うちプラチナは約 3.0 トン）採掘し、ラスタンバーグ鉱山では3番目に多いシャフトとなる。シャフトの停止期間がまだ不明なため、その間の生産ロスは見積もってはわからない。しかし加工在庫の蓄積があるため、精錬プラチナ生産にはあまり影響がない可能性もある。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20231204_pdfmodyntrid=qw-zPRnbPFqO3mtwz05y4hQbfUcD1rcd7hbesbA

Translated by Kazuko OSAWA

WPIC直近の活動

固体高分子型 (PEM) 水電解装置においてイリジウムへの依存率を減らす目的で、ルテニウムをベースとした新たな触媒が開発されたなど、PGM の利用分野は多岐にわたり、日々広がっている。他にも、田中貴金属工業はプラチナ・パラジウム・イリジウム・ルテニウム・ロジウムの5種の貴金属のみで構成された、世界初となるハイエントロピー合金 (HEA) 粉末の開発に成功したり、プラチナをアクチュエーター材料として 携帯電話などに使う研究が進んだりしてPGM の利用は新たな研究開発で広がりつつある。詳細は**WPICプラチナ豆知識―研究開発**をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/12/07

@platinumjapan1

免責事項：本資料は情報提供に徒ず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。